

# 日本原子力学会 核燃料部会

## 平成 25 年度 第四回運営小委員会議事録

日時 : 平成 26 年 3 月 4 日 (木) 13:30~15:40

場所 : 日本原子力学会 事務局 会議室

出席者 : (委員以下は 50 音順)

湊部会長、安部田副部会長、池田委員 (NDC)、池田委員 (JNFL)、岩元委員、逢坂委員、小野委員、小野岡委員、草ヶ谷委員、高松委員、手島委員、藤塚委員、永瀬委員、平井委員、巻上委員、野田[記] (16 名)

### 議事

#### 1. 前回運営小委員会議事録確認

野田庶務幹事から、前回 (第三回) 運営小委員会議事録 (資料 No.1) が提示された。コメント反映済であり、説明は省略。

#### 2. 運営委員交代について

野田庶務幹事から、三菱原子燃料の高野委員から手島委員、原子燃料工業の松浦委員から小野委員への委員交代について紹介があった。

#### 3. 平成 25 年度支出予想及び平成 26 年度予算案について

野田庶務幹事から、資料 No.3 により、平成 25 年度収支予想及び平成 26 年度予算案について説明があった。今年度の学会からの配布金のうち約 6 万円は使用されない。学会からの配布金が余った場合、来年度へ繰越しにならないことが紹介された。

#### 4. 燃料高度化ロードマップ実行 WG の余剰金について

巻上委員から、資料 No.4 により、燃料高度化ロードマップ実行ワーキンググループの余剰金の取扱いについて説明があった。前回の運営小委員会で承認された計画を企画委員会に申請したところ、余剰金の使途が具体的でないとの理由で承認されなかったため、使用計画を具体化し、改めて運営小委員会メール審議で了承された使用計画を提出した。その結果、企画委員会に了承され、燃料高度化ロードマップ実行 WG の余剰金を核燃料部会の余剰金として使用することが認められた旨説明があった。

また、企画委員会から、説明責任の観点で、①使用計画に基づく活動の実績と成果を回答できるように備えること、②本件の経緯等を部会等運営委員会に報告することが求められている。

#### 5. 平成 26 年度 役割分担について

野田庶務幹事から、資料 No.5 により、平成 26 年度役割分担案の説明があり、了承された。

また、核燃料部会部会賞選考委員については、副部会長、Gr1 広報担当、今年度および次年度の Gr3 国内企画担当が選考委員となること、およびこれらの委員が検討し他の委員を選出していくことが承認された。

#### 6. 今後の核燃料部会の体制

安部田副部会長から、資料 No.6 により、来年度から副部会長を 2 名とすること、部会長、副部会長の任期を原則最長 2 年とすること等の部会体制案の説明があり、了承された。

また、部会長が平井委員を来年度選出される副部会長に推薦し、平井委員が承諾した

ため、運営小委員会として承認した。

本件については、春の年会時の全体会議にて承認を得る予定。

#### 7. 福島第一廃炉検討委員会（仮称）について

安部田副部長から、資料 No. 7 について説明があった。

なお、委員会が設置される際には委員選出が求められるので、運営小委員会等で調整していく。

#### 8. 2014 年運営小委員会について

藤塚委員から、資料 No. 8 により、2014 年運営小委員会の開催案について説明があった。また、2014 年第一回運営小委員会を 5 月 20 日開催予定とした。

#### 9. 核燃料部会報（No. 49-2）について

小野岡委員から、資料 No. 9 により、部会報（No. 49-2）の準備状況の説明があった。

執筆者が決まっていない内容もあり、執筆者推薦等の協力依頼があった。

#### 10. 平成 26 年度夏期セミナーについて

永瀬委員から、資料 No. 10 により、平成 26 年度夏期セミナーについて説明があった。

平成 26 年度夏期セミナーは 7 月 10 日から 12 日に静岡県掛川市つま恋で実施する計画。講師との調整も進めている。また、見学会は中部電力浜岡原子力発電所の予定。

#### 11. 第 2 回核燃料部会部会賞（奨励賞）の選考結果について

平井委員から、資料 No. 11 により、部会賞（奨励賞）の選考結果の説明があった。

評価点合計 50 点のうち、7 割（原子力学会本体の選考基準を参照）の 35 点以上が選考基準であり、4 件の応募から、1 件（JAEA 高野氏）が選考された。

選考委員による点数のばらつきがあること、選考評価項目毎の点数の付け方の例示、各選考委員による評価後の調整等について、次回以降検討していくこととした。

また、JAEA 高野氏を春の年会の全体会議時に表彰する予定。

#### 12. ANFC の今後の運営について

逢坂委員から、資料 No. 12 により、前回委員会時の質問回答および MOU の改定案について説明があった。

資料 No. 12 のご承認依頼事項については、①MOU 修正案（中韓の担当者ベースで調整済）は主旨を了承するがさらに良い表記がないか検討すること、②「9 年後の日本開催運営体制の構築」の「具体的な運営体制・方法については主催国に委ねる」は「核燃料部会において検討する」と修正することで、了承された。

#### 13. WRFPM2014 プログラム委員会からの報告

安部田副部長から、資料 No. 13 により、3 月 3 日に開催されたプログラム委員会について報告があった。

福島第一のデコミに関して、東電と IRID の 2 件を計画しているが、役割分担（発表内容）を両者で相談して決めていくこととした。

また、今後の予定として、プログラム内容を審議するためにプログラム委員会を 5 月末と 8 月上旬に国内委員が集まって開催する予定。

#### 14. その他

次回総会を春の年会中に開催する。

次回運営小委員会は 5 月 20 日開催予定。